

A2880 485系 特急「びばあいづ」6両セット

予価 : 19,400円 (税別)

JANコード: 120170 カート内入数 : 12

A3699 国鉄485系 特急「くろしお」4両セット

予価 : 15,200円 (税別)

JANコード: 122549 カート内入数 : 12

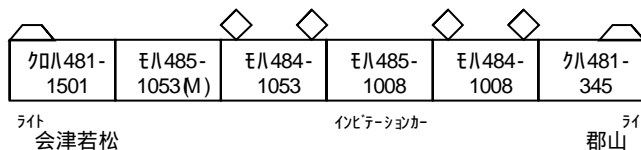
商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材: ABS樹脂製 対象年齢: 14歳以上 ブックケース入)
実車	<p>上野から会津地方を連絡する特急列車は長らく485系による「あいづ」が運転されてきました。磐越西線の64.6kmの区間を運転する3特急となった「あいづ」は、あらたに特急「びばあいづ」として活躍を開始しました。「びばあいづ」専用として勝田電車区所属の6両編成の485系体が抜擢され、車体塗装はシルバーをベースに会津の山並みをイメージした黒、赤ベコの赤のストライプが入ったものに一新されました。3号車には会津地方の特産品を展示するコーナーが設置されて「インビテーションカー」と呼ばれました。</p> <p>紀勢本線の特急「くろしお」は国鉄末期、1985昭和60年のダイヤ改正に伴って短編成化と編成数増強が計画された際、他の地域で活躍中の485系交直流特急型電車の運用見直しによって捻出された車両を活用することになりました。クハ480はサハ481-0・サハ489-200・250に運転室を設置したもので1両が登場しました。「くろしお」では4両編成での運用が前提とされていたためにMG・CPの設置が見送られたのが特徴です。分割併合運用の便を考慮して前面貫通路の扉が引戸形となり特急シンボルマークは平面状のものが取付けられました。また、偶数形式にも関わらず奇数向きとされたのも特徴です。</p>
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース電車シリーズの更なる充実</li> <li>・ヘッドライト テールライト 愛称幕点灯。ON-OFFスイッチ付</li> <li>・フライホイール付動力ユニット搭載</li> </ul>

シルバーのボディに黒 赤のストライプ



- ・モハ485-1008は展示車両(インビテーションカー)時代の登場時を再現
- ・クハ481-150は新規作成
- ・運転室屋根上にヘッドライトの無い姿

A-2880 編成図



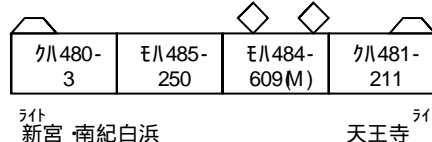
JR東日本商品化許諾済

貫通型先頭車クハ480



- ・サハから改造されたクハ480を新規作成
- ・モハ484-600番台製品化
- ・交換用カプラー付属

A-3699 編成図



JR西日本承認済

オプション 幅広室内灯 :G0001/G0002/G0003/G0004 , マイクロカプラー密連 黒 :F0001

付属品 行先ステッカー、交換用カプラー (A3699のみ)